

「Hirschsprung 病における原因遺伝子の探索」

1. 研究の対象

・ Hirschsprung 病の診断がついている患者・患者の両親・患者の同胞
(2017 年～千葉大学医学部附属病院小児外科で「先天性小児外科疾患の原因遺伝子探索」に参加された患者・患者の両親・患者の同胞を含みます)

2. 研究目的・方法

研究目的

この研究は、Hirschsprung 病の病気の成り立ちを、遺伝子の面から明らかにしようとするものです。Hirschsprung 病には、親から子へと遺伝する性質があることが知られていますが、まだその原因の遺伝子が明らかになっておりません。

Hirschsprung 病に関わる遺伝子が明らかになれば、Hirschsprung 病になりやすいかどうかということや、どういう仕組みで Hirschsprung 病が発症するのかということをも明らかにできることが期待できます。さらに、これにより Hirschsprung 病の発症を予防したり、最適な治療法を選んだり、新しい診断法を開発したりといったことに発展してゆくことが期待されます。

研究方法

あなたから、研究のために採血を行う際に、5 mL の採血をさせていただきます。その血液から DNA を取り出して、Hirschsprung 病に関係のありそうな遺伝子を解析します。

研究期間

2022 年倫理委員会承認後から 2024 年 9 月 30 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

臨床情報：年齢、性別、人種、既往歴、合併症等の発生状況

Hirschsprung 病の診断日、治療法、病型等

試料：血液

4. 外部への試料・情報の提供

研究の一部を委託する機関への試料・情報の提供は、当該試料・情報を匿名化した上で行います。対応表は、当施設において研究責任者が責任をもって保管・管理します。解析は千葉大学内で実施するため、原則学外へは試料や情報は提供されませんが、担当者の異動に伴って一部解析が外部で実施される可能性があります。なお、その場合は異動先では本研究以外にはデータは使用しません。

5. 研究組織

千葉大学医学部附属病院 小児外科 准教授 照井 慶太
千葉大学大学院医学研究院 公衆衛生学 教授 尾内 善広
千葉大学大学院医学研究院 感染生体防御学 特任教授 関根 章博
千葉大学医学部附属病院 救急集中治療医学 教授 中田 孝明
国立成育医療研究センター 小児外科 診療部長 金森 豊
東京都立小児総合医療センター 外科 医長 下島 直樹
千葉県こども病院 小児外科 部長 齋藤 武
東京女子医科大学八千代医療センター 小児外科 准教授 幸地 克憲
国保君津中央病院 小児外科 部長 照井 エレナ
松戸市立総合医療センター 小児外科 部長 松浦 玄

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

調整・管理実務担当者：

千葉大学医学部附属病院 小児外科 医員 川口 雄之亮
〒260-8670 千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1 Tel: 043-222-7171

研究責任者：

千葉大学医学部附属病院 小児外科 准教授 照井 慶太

研究代表者：

千葉大学医学部附属病院 小児外科 准教授 照井 慶太